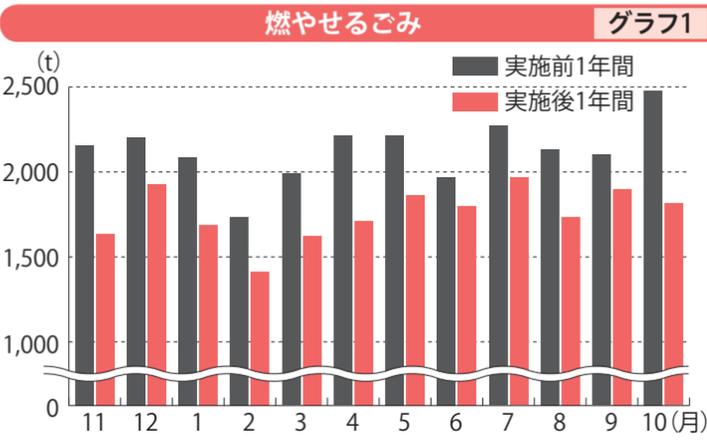


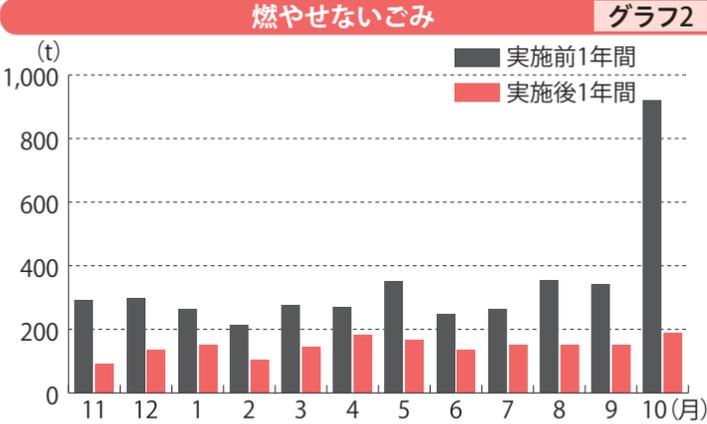
戸別収集・有料化実施後の家庭ごみ排出量

実施前後の比較
減 燃やせるごみ約18% 燃やせないごみ約57%
増 資源(プラスチック等)約7%

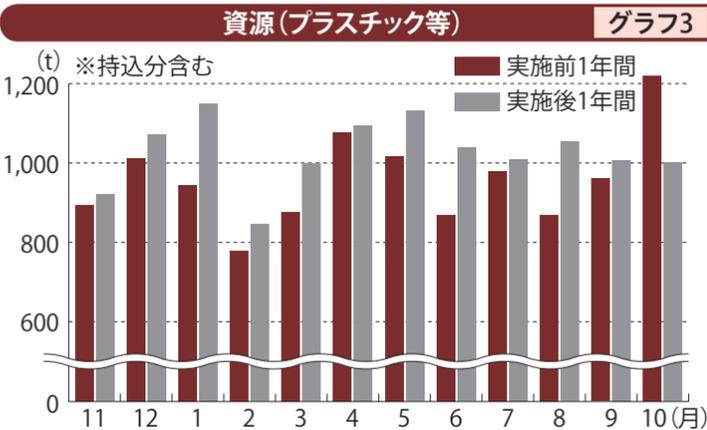
戸別収集・有料化実施前と実施後と比較すると家庭から排出された「燃やせるごみ」(グラフ1)



「燃やせないごみ」(グラフ2)は約57%減少しています。一方で「資源」(プラスチック等)は約7%増加しています。



「プラスチック等」(グラフ3)は約7%増加しています。これは、市民の皆さんのご理解とご協力によるものです。ありがとうございます。引き続き、「ごみ減量と資源化」に取り組めます。今後ともご理解とご協力をお願いします。



「ごみ減量と資源化」に取り組めます。今後ともご理解とご協力をお願いします。

ごみの出し方・分別等の出前説明会を開催しませんか

ごみの出し方や分別等について、市民の皆さんにご理解とご協力をいただくために、ご要望に応じて市職員が出張し、出前説明会を開催しています。映像と資源やごみのサンプルを用いて、正しい分別方法を説明します。また、ごみについて日常感じている疑問や相談、分別に関する質問等にもお答えします。出前説明会をごみ減量、リサイクルのきっかけとしてみませんか。



説明会の様子

対象は市民の方で構成するおおむね5人以上の団体で、時間は60分～90分です。なお、会場は各団体が確保をお願いします。市の施設を会場とする場合(減免制度あり)は、空き状況を確認の上、事前にご連絡ください。

問 ごみ対策課ごみ減量推進係
内線 6756

資源やごみは収集曜日の午前8時まで

ごみ収集車は午前8時から収集を開始し、車両が満載になると、処理施設まで運搬するため時間を要します。その日の資源やごみの量、天候、交通事情により遅れたり早まったりします。収集漏れを防ぐためにも必ず、午前8時までに出してください。

問 ごみ対策課収集係 ☎(531)5517

スプレー缶・カセットボンベは穴を開けてから出して

中身が残ったままのスプレー缶やカセットボンベは、収集・処理する過程で、爆発や火災事故が発生する原因となり、大変危険です。

●ごみ出し前に次のチェックを

- ▼缶を振って音を聞く(ガスが残っていると「シャカシャカ」と音がします)▼中身を使い切る▼火の気がない屋外で缶に穴を開ける▼「缶」の収集日に出す

事業系ごみは自己処理をお願いします

ご協力をお願いします。

問 ごみ対策課収集係 ☎(531)5517

商店や事務所などの事業所から排出されるごみは、「事業系ごみ」になります。事業系ごみは事業者自らの責任において適正に処理することが法律および条例により義務付けられています。事業系ごみは、少量や資源物のみであっても家庭ごみとして出すことはできません。石油ストーブには出せません。石油ストーブ

石油ストーブは必ず灯油を抜いて粗大ごみへ

石油ストーブは、通常の収集には出せません。石油ストーブ

落ち葉・枝などの野外焼却は禁止されています

落ち葉や庭木の枝などを廃棄物として野外で焼却することは、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」などで禁止されています。落ち葉は透明または半透明の袋に入れて「燃やせるごみの日」に、せん定枝は直径15センチまでの枝を長さ50センチまでの束にして1回5束を限度に「せん定枝の日」に出してください。なお、せん定枝は総合リサイクルセンターに直接持ち込みも可。

問 環境対策課・内線2248、
問 ごみの出し方はごみ対策課収集係 ☎(531)5517



説明会用のスライド(実物サンプルもお見せします)

